

John Templeton Foundation 助成

震災後の日本における宗教的ミニストリーの理論と実践 ― 第一回シンポジウム

21世紀に甦る賀川豊彦・ハル

1st. SYMPOSIUM | Science for Ministry in Japan: The Theory and Practice of Christian Ministry in the Face of Natural Disasters

2015年3月14日[土] 午後1時30分―午後5時 明治学院大学 白金校舎 三三三館三三〇三教室

東京都港区
白金台二丁目三十七

参加費＝無料 申込み＝Science for Ministry in Japan 専用サイトから(裏面参照)、もしくは直接、共立基督教研究所まで。

共催＝東京基督教大学 共立基督教研究所、明治学院大学 キリスト教研究所 賀川豊彦研究プロジェクト

協賛＝賀川豊彦記念松沢資料館、キリスト新聞社

基調講演

あらゆるものを全体から見る姿勢

「科学的な神秘主義者と芸術家」である

賀川豊彦(八八八―一九六〇年)

トマス・ヘイスティングス氏

〔日本国際基督教大学財団主任研究員、賀川豊彦記念松沢資料館研究員〕

パネルディスカッション

賀川の「民主的で平和な日本社会」のヴィジョン

金井新二氏〔賀川豊彦記念松沢資料館館長、東京大学名誉教授〕

労働組合、協同組合、NPOの連携

篠田徹氏〔早稲田大学社会科学総合学術院教授〕

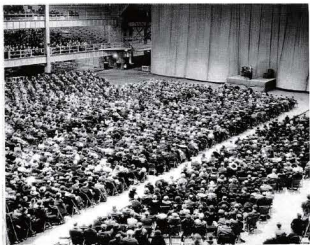
豊彦とハルのパートナーシップ

岩田三枝子氏〔東京基督教大学神学部専任講師〕

コーディネーター

稲垣久和〔東京基督教大学大学院教授〕

問い合わせ
共立基督教研究所
〔高橋〕
〒270-1347
千葉県印西市内野3-301-5
Tel || 0476-46-1137
Fax || 0476-46-1292
E-mail || ntaka@tci.ac.jp



本プロジェクトは米国の John Templeton Foundation の助成を受けて行われます。本プロジェクトの成果として発表される論文・記事等に表明される主張・見解は、同財団の主張・見解を表すものではありません。

This project was made possible through the support of a grant from the John Templeton Foundation. The opinions expressed in this project are those of the members and do not necessarily reflect the views of the John Templeton Foundation.



基調講演

トマス・ジョン・ヘイスティングス | Thomas John Hastings
日本国際基督教大学財団主任研究員、賀川豊彦記念松沢資料館研究員、キリスト教と文化研究所国際基督教大学研究員。ホイートン大学大学院修士課程、プリンストン神学校博士課程修了。Ph.D.(キリスト教教育)。1987年、米国長老教会宣教師として来日し、20年に亘り北陸学院短期大学、聖和大学、東京神学大学等で主に実践神学(キリスト教教育)を講ずる。著書に *Practical Theology and the One Body of Christ: Toward a Missional-Ecumenical Model*, Berdmans があり、2014年3月には賀川最晩年の著作『宇宙の目的』の英訳書 *Cosmic Purpose, Cascade* を上梓。また2015年春に、著書 *Seeing All Things Whole: The Scientific Mysticism and Art of Kagawa Toyohiko (1888-1960)*, Pickwick を刊行予定。米国宗教学会員、国際実践神学学会員。

パネラー

金井新二 | かないしんじ

賀川豊彦記念松沢資料館館長。早稲田大学法政学研究所、東京神学大学大学院を経て、東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退(助手就職のため)。東京大学文学部教授、北星学園大学学長などを経て現職。東京大学名誉教授。専攻は宗教学、キリスト教思想史。著書に『「神の国」思想の現代的展開—社会主義的・実践的キリスト教の根本構造—』『現代宗教への問い—宗教ゲームからオウム真理教へ—』(共に教文館)『ウェーバーの宗教理論』(東京大学出版会)ほかがある。

篠田徹 | しのだ・とおる

1959年東京生まれ。早稲田大学政治学研究所博士課程中退。北九州大学法学部専任講師、早稲田大学社会科学部助教授、ハーバード大学ライオンズ日本研究所客員研究員などを経て現職。主著に『世紀末の労働運動』(岩波書店)、共編著に『労働と福祉国家の可能性—労働運動再生の国際比較』(ミネルヴァ書房)ほかがある。

岩田三枝子 | いわた・みえこ

東京基督教大学専任講師。東京基督教大学神学部卒業。東京基督神学校、カルヴィン神学校、キリスト教高等研究所修了。専攻はキリスト教倫理、キリスト教世界観、賀川ハル研究。「大正期における婦人運動—覚醒婦人協会と賀川ハルを中心に」により、第10回平塚らいてう賞奨励賞。論文に *TOYOHICO KAGAWA (1888-1960): HIS WORK AND THEOLOGY FOR SOCIAL JUSTICE IN JAPAN* (2002年)、共訳書に、A・E・マクグラス『キリスト者の霊性』、R・J・マウ『アブラハム・カイパー入門』(共に教文館)ほかがある。

稲垣久和 | いながき・ひさかず

東京基督教大学大学院教授、共立基督教研究所長。東京都立大学大学院博士課程後期修了。アムステルダム自由大学哲学部・神学部客員研究員、同客員教授等を経て現職。専攻は公共哲学、キリスト教哲学。著書に『実践の公共哲学』(春秋社)『「公共福祉」という試み』(中央法規出版)『宗教と公共哲学』(東京大学出版会)、『国家・個人・宗教』(講談社現代新書)『公共福祉とキリスト教』『改憲問題とキリスト教』(教文館)ほかがある。



21世紀に甦る賀川豊彦・ハル

震災後の日本における宗教的ミニストリーの理論と実践 — 第二回シンポジウム

評論家大宅壮一をして「およそ運動と名のつくものの大部分は、賀川豊彦に源を発している」と言っても、決して言い過ぎではない」と言わしめた賀川の活動は、神戸スラムでの救貧に始まり、労働運動、消費者組合運動、農民運動、災害緊急支援(関東大震災)、国内外におよぶ広範な伝道活動、平和運動と世界連邦の提唱に及びました。そしてその活動を無二の同労者として主体的に担ったのが、賀川の妻ハルでした。

賀川は思想と活動は世界から賞賛され、ノーベル文学賞に2回、ノーベル平和賞に3回ノミネートされていますが、戦後の日本でその働きは継承されませんでした。しかし世界が大きく転換しつつある現在、賀川は思想と活動が改めて注目されています。今日、その活動を当時の文脈に即して検証しつつ、賀川が生涯を通して取り組んだ課題を継承し発展させる時期に来ているのではないのでしょうか。

これからの市民社会における福祉や公共政策には女性の参加が不可欠であるなか、本シンポジウムでは、賀川豊彦ハル夫妻のパートナーシップをとおして、「21世紀のグランドデザイナー」(阿部志郎氏)とも称される賀川は思想と実践の全体像を、公共哲学、神学の視点から明らかにします。



震災後の日本における宗教的ミニストリーの理論と実践

Science for Ministry in Japan: The Theory and Practice of Christian Ministry in the Face of Natural Disasters (2014-16)

お申し込み

<http://www.tci.ac.jp/smj/schedule/> から、または共立基督教研究所まで、1|お名前、2|ご所属、3|ご連絡先(住所・電話番号)を明記のうえ、お申込みください。

問い合わせ

共立基督教研究所 [高橋]
〒270-1347 千葉県印西市内野3-301-5
Tel || 0476-46-1137
Fax || 0476-46-1292
E-mail || nntaka@tci.ac.jp

会場アクセス

会場アクセス
— [明治学院大学 白金キャンパス]
〒108-8636
東京都港区白金台1-2-37
— 品川駅(高輪口)より徒歩約20分。
または都営バス
「大井競馬場前」行き、「明治学院前」下車。
目黒駅(東口)より徒歩約20分。
または都営バス「大井競馬場前」行き、「明治学院前」下車。
地下鉄の白金台駅(2番出口)、白金高輪駅(1番出口)、高輪台駅より、いずれも徒歩約7分。



1st. SYMPOSIUM | Science for Ministry in Japan: The Theory and Practice of Christian Ministry in the Face of Natural Disasters